

## 令和6年度第1回広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 議事要旨

- 1 日時  
令和6年8月2日（金） 午後2時～午後4時
- 2 場所  
広島市役所本庁舎14階第7会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員  
伊藤 圭子（会長）、古森 公人、鉄村 忠基、友田 加世、西村 千賀子、林 千秋、原田 佳子、福井 国博（以上8名）
  - (2) 事務局（市）  
環境局長、環境局次長、施設部長、埋立地整備管理担当部長、業務部長、環境政策課長、温暖化対策課長、施設課長、埋立地整備管理課長、埋立地整備担当課長、工務課長、業務第一課長、業務第一課指導担当課長
- 4 次第
  - (1) 開会
  - (2) 委員の紹介
  - (3) 会長・副会長の選任
  - (4) 部会委員の指名
  - (5) 議事  
報告 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和5年度における目標達成状況等について  
議題 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（食品ロス削減推進計画を含む。）の骨子案について
  - (6) 閉会
- 5 公開・非公開の別  
公開
- 6 傍聴人の人数  
0名
- 7 会議資料
  - 〈会議関係〉
    - 令和6年度第1回広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 配席表
    - 広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 委員名簿
  - 〈議事関係〉
    - 報告**
      - 資料1 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和5年度における目標達成状況等について
      - 資料2 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の行動計画に基づく施策の令和5年度実施状況等について
      - 資料3 食品ロス削減推進計画に基づく施策の令和5年度実施状況等について
    - 議題**
      - 資料4 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（骨子案）
      - 資料5 食品ロス削減推進計画（骨子案）
      - 参考資料 食品ロスに関するアンケート調査結果

## 8 議事要旨

発言者	発言要旨
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日は委員改選後の初めての開催となるため、当審議会の会長・副会長の選任についてお諮りする。</li> </ul>
	(委員の互選により、会長に伊藤委員が選任され、副会長に佐々木委員が選任された。)
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日の議事は報告が1件、議題が1件である。事務局から報告について説明をお願いします。</li> </ul>
環境政策課長	【報告：広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和5年度における目標達成状況等についてを説明】
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。</li> </ul>
福井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却量と埋立量を合わせても、ごみの総排出量とイコールにならないが、その差は何なのか教えて頂きたい。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却処理と埋立処理に加えて、資源化の処理があるため、総排出量とイコールにはならない。</li> </ul>
友田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭ごみは外出自粛による巣ごもり需要により増加したとあるが、これは新型コロナウイルス感染症拡大の要因だけで説明ができるのか。</li> <li>4ページの家庭系可燃ごみの組成を見ると、プラスチックの割合が減っていないが、プラスチックをどうにかしようという考えがあるか。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度と令和3年度に家庭ごみの排出量が増えていることを考えると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はかなりあると思っているが、徐々にワクチン等が普及し、令和5年5月に5類に移行したこともあり、外出をする人が徐々に増えたことにより、令和4年度、令和5年度と家庭での消費が少なくなっているものと考えられる。</li> <li>プラスチックの関係は、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行されたこともあり、対応については検討しているが、後ほどの資料で詳しく説明する。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>本来広島市の分別では、プラスチックは基本的にその他プラとリサイクルプラに分別するため、組成分析調査による可燃ごみの中のプラスチックについては、分別間違いのプラスチックと、汚れが付着したプラスチックが可燃ごみに入っているということになる。</li> <li>これらを減らすためには、適切な分別を行ってもらうことや、汚れが付着したプラスチックを洗って分別してもらうよう啓発を行っている。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨今の物価高が購買意欲を低下させ、ごみの排出量が少なくなっているのではないか。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>素案を作る際は、物価高の影響がどの程度あるのかということについて、意識して考えていきたいと思う。</li> </ul>
古森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策等の効果が着実に上がっており、目標を達成しているというような分析だったが、平成27年度くらいは人口のピークだったことを考えると、人口減少がごみ排出量の減少に与えた影響もあると思うが、目標達成率の考え方はこれでいいのか。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度が人口のピークだったと思うが、人口減少についても減ってきた要因として捉える必要があるという指摘だと思うので、素案を作る際にそういった影響についても確認したいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口の減少を加味して、ごみの排出量がどのくらい減ったのかを見るために、1人1日当たりのごみ排出量という指標を設けており、それについても目標を達</li> </ul>

発言者	発言要旨
	成しているため、現状は目標達成に向かっていていると考えている。
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代はごみを出す量が多く、高齢者ほどごみを出す量が少ないという実感があるが、年代別のごみの排出量の調査をしていないのか。</li> <li>例えば食品ロスをなくしていくためには、年代別にどういった教育をしていくのがいいのかといった話になると思う。</li> </ul>
鉄村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本は裕福すぎて、物を多く作りすぎる。それが食品ロスになる。</li> <li>そういったことを解決するためには、多く作らないことや買い物を少なめにする、まとめ買いをしないなど一人一人の心がけだと思う。</li> <li>先ほどの原田委員がおっしゃった年代別の調査については、学生が多い地域があったりと、区によっても世代の構成比なども違うため、難しいと思う。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島市のごみ排出量が減少していることを見ると、広島市の施策の効果などが表れたものであると感じていたが、先ほどの議論を聞くと、人口減少や物価高など色んな要因があって、今の結果に繋がっていると思う。</li> <li>数字について、どのように解釈するかは今後の課題になると思う。</li> <li>他に御質問等ないようであれば、事務局から議題について説明をお願いします。</li> </ul>
環境政策課長	<b>【議題：広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の骨子案についてを説明】</b>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>議題の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。</li> </ul>
友田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定枝のリサイクルが廃止になっており、現在は可燃ごみで排出してくれという案内になっていると思うが、剪定枝は量が多いため、可燃ごみで出すのが難しい場合もあり、一般家庭で庭の整備などをした際の剪定枝の取扱いに周りの人や自分自身も困っている。また、今までバイオマスとして活用していたものを、単に可燃ごみに変更ということだが、何とか利活用できないものかを感じている。</li> <li>大型ごみの自己搬入について、大型ごみ破碎処理施設に何度か大型ごみを持って行ったことがあるが、これはここでは受け取れないから、玖谷埋立地に持って行ってくれと言われた。こういった場合、市民の利便性を考えると、その場所でワンストップで受け入れ、市が運ぶなどしてくれたらよいのではないかと思った。</li> <li>様々な要因によって発生しているごみ屋敷について、解消するための具体的な案はないのか。ごみ屋敷が減れば、災害時の対応の負担軽減になるのではないかと思う。</li> <li>食品ロスについては、子ども食堂など民間との連携があればよいと思う。</li> <li>新南工場の供用開始に合わせて、その他プラとリサイクルプラを一緒に集めるということか。それはどのような取扱いになるのか。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別区分については、現在のその他プラの区分がなくなり、その他プラのうち、資源化可能なプラスチックについてはリサイクルプラに統合してリサイクルし、その他プラに含まれる資源化できない靴やバッグなどについては可燃ごみの区分に統合し、焼却することとなる。</li> </ul>
友田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念としてゼロエミッションシティ広島の実現を掲げているが、このゼロエミッションシティという言葉が市民に浸透してないように感じる。また、今から作る計画としては、脱炭素の視点や要素が必要なのではないかと思う。</li> <li>昨今は電子化が進んでおり、ネットニュースなどしか見ないといった人も増えていると思う。ごみの減量に関する啓発に関しては、SNS やスマホのアプリなどの活用が必要なのではないかと思う。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化の問題、認知症などによりごみ自体を出すのが難しいということが課題</li> </ul>

発言者	発言要旨
	<p>として記載はされていたが、具体的にどのようなにするのか、早急に考えなければならない問題だと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスチックの資源化は多くの費用が掛かるものであり、市民が正しく分別して排出していただかないと余計に費用が掛かってしまうと聞いている。そのため、力を入れて取組を進めていかなければならないと思う。</li> <li>・ 食品ロスについては、特に若い人などは料理をあまりしない人が多くなり、食品自体のことを知らないため、もったいないということ自体が分からないのだと思う。そのことも含めて食品ロス発生抑制のための啓発等を行っていかねばならないと思う。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスチックのリサイクルについて、洗って分別してリサイクルに出してもらおうということを市民にもっと知ってもらわなければならないと思った。例えば、中が洗えないようなものはどうしたらよいのか疑問に思った。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リサイクルを推進するうえで、きちんと分別をしていただくことやどのようにして出してもらうかの周知は分かりやすくなるよう工夫したいと思う。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ袋を有料化すると、明らかにごみ量が減るといような話を聞いた。その点は、市も検討していかないといけないのかなと思った。</li> </ul>
福井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ処理基本計画の目標値について、排出量は15%減なのに対して、焼却量や埋立量はそれぞれ20%減となっており、これらの削減率の方が高いのは何か理由があるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、焼却処分されている資源化可能なプラスチックや紙類などを資源化し、新しく目標として設定する予定の資源化率を上げることにより、焼却量や埋立量を更に減らすこととなり、排出量よりも高い削減目標になる。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考資料の食品ロスに関するアンケート調査結果において、「条例について知っている」という設問に対して、認識が乏しい事業者が多いと感じたが、こういった条例が施行されたことなどについて、スーパーマーケット協会の方で周知などをしているのか。</li> </ul>
古森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例について、協会の方から積極的に発信するということはやっていない。ただし、行政からいろんな情報が流れてくるものについては、加盟者に配信している。</li> <li>・ 部会の時もお伝えしたが、参考資料のアンケートの対象店舗数に対する回答店舗が少ないように感じる。これは意識の低さの表れかと思う。</li> <li>・ もちろん食品ロスについて関心がないわけではなく、例えば参考資料の3ページの設問④の食品ロスの発生要因への回答にあるように、商品等の期限切れや過剰な仕入れ・仕込みによる食品ロスについては、事業者として非常に苦勞をしている部分であり、仕入れ・仕込みの最適化と売り切れによる販売機会の損失と顧客満足との両立は非常に難しい課題である。</li> <li>・ 例えば、24時間営業の店舗など、ある程度はどうしても売り場がないといけないという状況はある。そういった食品ロスをできるだけ少なくするのが事業者としての目標である。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔の話ではあるが、スーパーマーケットで食品メーカーの品物が欠品になると、その食品メーカーのものはもう卸してくれなくなるなど、ペナルティがあると聞いたことがあるがどうか。</li> </ul>
古森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今は聞かないが、昔はあったかもしれない。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まだ食品ロスのことがあまり知られていない時期に、スーパーマーケットの店舗に食品ロスについて聞いてみたことがあるが、その際は食品ロスよりも顧客口</li> </ul>

発言者	発言要旨
	<p>スの方が恐ろしいと言われた。それが正直なところだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きい会社は、食品ロスの削減など色々な取組をされていると思うが、中小企業については、事業に精一杯でそういったことに手が回らないのが現実だと思う。</li> <li>・ あいあいねっとは寄付していただく食品については、持ってきていただくようお願いしているが、大きい会社については、そういったことにも対応していただけるが、中小企業は難しい部分があるのだと思う。</li> </ul>
古森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原田委員のおっしゃる通り、大きい会社はそういった活動を積極的に行っているが、中小企業ではそれだけの余力がないというのが現実である。食品ロス削減やSDGsについて、専門的にやらせるような余力はない。</li> <li>・ 廃食用油の回収についても、協会のメンバーでやっている会社がいるのは知っているが、やはりこれも手がかかる。そういったことに取り組んだ方がいいことは分かるが、手が出せないのが中小企業の現状だと思う。</li> <li>・ 広島県の方から、スーパーマーケット協会に対して食品ロス削減に関する話が来ているが、市との連携はどのような状況か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島県の方からは随時相談を受けたり、情報共有などをしており、連携している状況である。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他に御質問はないか。ないようであれば、「広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の骨子案について」皆様にお諮りする。広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の骨子案について、案のとおりとし、素案の作成にあたることに異議はないか。</li> </ul>
各委員	(異議なし)
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異議なしということなので、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の骨子案について案のとおりとし、本日委員の皆様からの御意見を参考にし、素案の作成にあたってください。</li> <li>・ この他、御意見・御質問等ないので、本日予定していた議事についてはこれで終了する。</li> </ul>